

TUMSAT・KMI交流セミナー2013

Joint Seminar between TUMSAT and KMI in 2013

—経済グローバル化の中での日韓水産業の互惠関係構築の課題と方向—

- 【主催】** 東京海洋大学 (TUMSAT)、韓国海洋水産開発院(KMI)
【趣旨】 経済のグローバル化下の水産業を取り巻く情勢下、両機関で行なわれている研究の交流を通じて、今後の日韓水産業の互惠関係のあり方を探る。
【開催日】 2013年11月28(木)・29日(金)
【開催場所】 東京海洋大学品川キャンパス 白鷹館2F 多目的スペース (定員100名程度)
【プログラム】

レセプション 11月28日(木) 17時30分～20時

於 東京海洋大学品川キャンパス 白鷹館1F

交流セミナー 11月29日(金)

- ◇ 開会(12時50分)
- ◇ 開会の挨拶(12時50分～13時) 東京海洋大学
- ◇ 第1報告(13時00分～13時40分)
韓国におけるビルディング養殖の導入方向
RYU JEOUNG GON (韓国海洋水産開発院 研究委員)
- ◇ 第2報告(13時40分～14時20分)
房総およびその周辺海域におけるサバの漁業と資源動向について
内山 雅史 (千葉県水産総合研究センター資源研究室研究員)
- ◇ 第3報告(14時20分～15時)
韓国のスケソウダラ流通の実態と問題点
KANG JONG HO (韓国海洋水産開発院 研究委員)
- ◇ 第4報告(15時～15時40分)
サバにおける流通変化と産地の対応—東太平洋産サバを中心に—
中居 裕 (東京海洋大学名誉教授/八戸学院大学教授)
- ◇ 第5報告(15時40分～16時20分)
韓国におけるマグロ漁業の実態と問題点
AN JAE HYUN (韓国海洋水産開発院 専門研究員)
- ◇ 第6報告(16時20分～17時)
日本海におけるサワラの漁獲量変動に関する研究
松原和裕 (東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科)
桜本和美 (東京海洋大学大学院教授)
鈴木直樹 (東京海洋大学大学院准教授)
- ◇ 総括コメント(17時～17時30分)
原田 泰志 (三重大学大学院生物資源学研究科教授)
韓国海洋水産開発院
- ◇ 閉会の挨拶(17時30分～17時40分) 韓国海洋水産開発院

※終了後、記念撮影

【参加について】 参加自由、参加料無料。なお、来場者が会場定員数を超える場合、入場をお断りする場合があります。

【問い合わせ先】 東京海洋大学大学院海洋工学系流通情報工学部門

中川 雄二 TEL:03-5245-7485、E-mail:rusnaka@kaiyodai.ac.jp